

令和8年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門				
政策No	24	政策名	先端技術の活用により利便性の高い区民生活を実現する	
所管部	区役所・デジタル改革担当		関係部	企画経営部
2 政策のめざす方向性				
先端技術を活用したDXの推進により、区民がいつでもどこでも質の高い行政サービスや必要な情報を確実に受けられる区政をめざします。オンライン環境の充実やあらゆる決済手段のキャッシュレス化、民間事業者との連携による次世代移動通信システム（5G・6G）の整備等を進め、様々な行政サービスを安心して活用できる環境を整えます。また、伝えたい相手に適した広報媒体を組み合わせ、分かりやすく親しみのある文章表現で区政情報を発信し、参加しやすく、透明性の高い区政運営を推進します。				
SDGsとの関係	   			
3 成果指標【政策について満足している区民の割合】				
指標の推移		計画目標値	達成度※	※評価区分 A：達成（達成度が100%以上） B：相当程度達成（達成度が70%以上100%未満） C：未達成（達成度が70%未満）
現状値	実績			
令和2年度	令和7年度	令和8年度		
27.6%	37.6%	43.5%	C	
これまでの取組と成果	先端技術を活用したDXの推進により、行政手続のオンライン化やキャッシュレス化を着実に進め、区民の利便性向上に取り組んできました。また、オープンデータの拡充や区政情報発信の多様化を進め、情報取得環境の改善を図りました。さらに、関係部署や民間事業者と連携し、屋外公衆無線LANやスマートポールの設置等、新たなデジタル基盤整備にも着手しました。これらの取組を通じ、区民生活の利便性向上に向けた基盤整備について一定の成果を得ることができました。			
課題と今後の方向性 ※未達成の場合は原因分析を含む	政策全体としては区民満足度の更なる向上という点で、当初の目標には至っていない状況にあります。特に、新技術導入に伴う費用対効果や、区民・利用者への波及効果について、十分な検証が必要となっています。今後は、各施策の成果や課題を整理し、検証結果を踏まえた改善を進めるとともに、区民目線で利便性を実感できる施策展開につなげていきます。			
4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）				
No	施策名	成果指標	施策評価	
①	質の高い行政サービスを提供できる環境の整備	区の申請におけるオンライン環境に満足している人の割合	A	
		区の手続におけるキャッシュレス決済環境に満足している人の割合		
②	便利な区民生活を実現する情報化の推進	月平均のオープンデータダウンロード数	C	
		屋外における公衆無線LAN（Minato City Wi-Fi）の設置数		
③	多様な暮らしを支える区政情報の発信	区政情報が届いていると感じる区民の割合	C	
		情報が見つけやすく、表現が分かりやすいと感じている区民の割合		

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	7,874,070	9,052,102	9,900,679
流用・補正	△1,684,706	△572,791	－
決算額	5,867,870	8,002,115	－
執行率	96.15%	94.37%	－
6 政策を取り巻く社会経済情勢等			
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など	デジタル技術の進展により、行政サービスのオンライン化や利便性向上に対する社会的要請が一層高まっています。一方、公衆無線LAN等を取り巻く技術やサービスは急速に変化しており、従来の整備方針や前提条件の見直しが求められています。また、国や東京都におけるDX推進の動きにより、自治体に求められる役割や対応水準も高度化しています。		
区民ニーズ等 ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見 など	オンライン申請やキャッシュレス決済等、利便性の高い行政サービスに対する区民ニーズは引き続き高い状況にあります。一方で、分かりやすさや使いやすさ、高齢者等への配慮を求める声も見受けられます。区民満足度の向上に向けては、デジタル技術の導入に加え、利用実態や区民意見を踏まえた継続的な改善が重要です。		
7 所管課による評価【一次評価】			
政策の達成状況	行政手続のオンライン化やキャッシュレス化については、計画に基づき着実に取組を進めることができました。一方、オープンデータや屋外公衆無線LAN等の一部施策については、現時点では計画目標の達成には至っていません。これは、施策効果を慎重に検証し、事業の妥当性を評価することを優先したためです。現段階では、政策目的の達成に向けて、引き続き改善と検証が必要な状況にあります。		
達成状況の要因 ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	関係部署と連携し、行政サービスのデジタル化や基盤整備に取り組んだことが一定の成果につながりました。一方、公衆無線LANを取り巻く外部環境の変化や新たなサービスの登場により、当初想定していた成果指標との乖離が生じています。その結果、費用対効果や実効性を踏まえた計画内容の見直しが必要となり、達成度に影響しています。		
課題と今後の方向性	今後は、先端技術の導入実績を客観的に評価・検証する仕組みを強化し、施策の妥当性や費用対効果を的確に把握することが重要です。そのため、個別施策の成果や課題を整理・検証する体制を整備し、意思決定の透明性と説明責任の確保を図っていきます。あわせて、検証結果を次の施策立案や見直しに的確に反映させるガバナンスを強化します。これにより、区民目線で実効性の高い施策展開を進め、MINATOビジョンの策定と着実な推進につなげていきます。		
8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】			
評価	A：政策目的を達成		
政策の達成度	・成果指標「屋外における公衆無線LAN（Minato City Wi-Fi）の設置数」について、計画期間途中で公衆無線LANを設置するための手段を変更したため、目標を達成できなかったことに留意する必要性があり、低く評価することは適切ではありません。 ・成果指標「月平均のオープンデータダウンロード数」について、区の活動量に比例して伸びる指標ではなく、社会的需要の影響が大きいものであることに留意が必要であり、低く評価することは適切ではありません。 ・施策「多様な暮らしを支える区政情報の発信」の各成果指標について、約70％の区民に適切に情報が行き渡っていることは、大きな成果です。 →以上を踏まえ、評価は「A」とします。		
MINATOビジョン策定に向けた今後の政策の方向性 ・重点的に取り組むべき施策 など	・成果指標「月平均のオープンデータダウンロード数」について、オープンデータは、区民の区政情報取得や民間活力の向上に資するものであり、ICTの枠組みの中に位置づけられる施策ではないことに留意が必要です。 ・施策「多様な暮らしを支える区政情報の発信」の各成果指標について、適正な目標値を設定する必要があります。		

施策評価シート

政策No	24	政策名	先端技術の活用により利便性の高い区民生活を実現する
施策No	①	施策名	質の高い行政サービスを享受できる環境の整備
目標・期待する成果	行政サービスのオンライン化を図り、いつでもどこでもインターネット上で分かりやすく必要な手続等ができる環境を整備します。また、あらゆる手続のキャッシュレス化や、窓口の更なる効率化を図ることで、来庁時にも利便性が高い行政サービスを享受できる環境を整備します。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	DX推進課		関係課 窓口DX担当

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
区の申請におけるオンライン環境に満足している人の割合		-	-	37.0%	55.6%	60.0%	60%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	令和5年度に行政手続のオンライン化100%を達成したことを受け、区民等に対して、各手続におけるオンライン申請を積極的に推進しました。			新たな手続におけるオンライン化を実施するとともに、引き続き積極的にオンライン申請を推進していきます。		
令和7年度	a	令和6年度に引き続き、区民等に対して、各手続におけるオンライン申請を積極的に推進しました。			新たな手続におけるオンライン化を実施するとともに、引き続き積極的にオンライン申請を推進していきます。		
令和8年度	a	新たな手続におけるオンライン化を実施し、令和5年度から継続してオンライン化100%を維持します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
区の手続における キャッシュレス決済環 境に満足している人の 割合		-	84.8%	77.6%	81.1%	85.0%	70%
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和６年度	a	令和６年度は、いきいきプラザでの 喫茶購買費や保育施設での一時保育 料について、キャッシュレス対応し ました。			年間取扱件数に関わらず、必要性の 見込まれる窓口に対し、積極的に キャッシュレス化を推進します。		
令和７年度	a	令和７年度は、区民課窓口での畜犬 関連手数料について、キャッシュレ ス対応しました。			区のあらゆる手続きのキャッシュレ ス化に向けて、未導入の窓口に対 し、積極的にキャッシュレス化を推 進します。		
令和８年度	a	令和８年度は、みなと茶寮での キャッシュレス化に向けてサポート していきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済の導入を着実に進めた結果、区の申請におけるオンライン環境や手続におけるキャッシュレス決済環境に対する区民満足度は、いずれも計画目標値を達成しました。これにより、来庁の有無にかかわらず、区民が利便性の高い行政サービスを楽しむ環境が整備される見込みのため、Aとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	令和5年度に行政手続のオンライン化を100%達成したことに加え、継続的なオンライン申請の周知・推進を図ったことが、利用促進と満足度向上につながりました。また、保育施設や区民課窓口等においてキャッシュレス決済の対象を段階的に拡大したことで、区民の利便性が向上し、成果指標の達成に寄与しました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	今後は、オンライン化やキャッシュレス化の「実施」ととどまらず、操作性や分かりやすさの向上、高齢者等デジタルに不慣れな方への支援強化など、利用者目線での改善が課題となります。引き続き、区民ニーズを的確に把握しながら、質の高い行政サービスを安定的に提供することで、MINATOビジョンに掲げる誰もが利便性を実感できる区政運営の実現につなげていきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	24	政策名	先端技術の活用により利便性の高い区民生活を実現する
施策No	②	施策名	便利な区民生活を実現する情報化の推進
目標・期待する成果	利便性が高く安定した行政サービスの提供や地域課題の解決をめざし、最新のデジタル技術の導入や行政情報データの利活用を推進するとともに、情報発信等の各種媒体の連携を強化します。		
SDGsのゴールとの関係	   		
施策担当課	DX推進課		関係課 情報政策課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
月平均のオープンデータダウンロード数		2,400件	153,062件	132,950件	132,566件	140,000件	200,000件
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	b	新規オープンデータ数を増やすとともに、公開済オープンデータで最新のデータ公開が必要なものについて月次や年次で更新しました。			データ数が多くなっていることから、最新のオープンデータの公開を続ける必要があるものについて適時更新を続ける必要があります。オープンデータのダウンロード数増に向け、オープンデータの周知啓発を行います。		
令和7年度	b	現行サイトの利用実態と改善点の把握を目的に、カタログサイトの利用者へアンケートを実施しました。			アンケート結果より、操作性・検索性・画面構成といったUIに課題を抱えていることが判明したため、カタログサイトのUI改善を検討していきます。		
令和8年度	c	カタログサイトのUI改善の検討を実施し、区民・事業者による自発的な利活用を促進します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
屋外における公衆無線LAN（Minato City Wi-Fi）の設置数		42か所	63か所	61か所	69か所	69か所	172か所
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	c	令和6年度から、屋外へWi-Fi単独ではなくWi-Fiに加え人流カメラやスピーカー等を搭載したスマートポールを設置することとしました。そのため、令和6年度はWi-Fiは設置せず、スマートポール設置に向けた調査・設計・区民等へのアンケートを実施しました。			スマートポールの設置については、他自治体での事例が少なく、多額の費用も発生することから、令和8年度に評価・検証を行い、今後の事業方針を再度検討する予定です。 Wi-Fiについては、長距離をカバー可能なWi-Fiも開発されており、設置数を再検討する予定です。		
令和7年度	c	屋外の公衆無線LANの拡大に関しては、スマートポールの設置（Minato_Park_Wi-Fi）を進めました。港区区立公園、児童遊園に10本のスマートポールを設置し、公衆無線LAN（Minato_Park_Wi-Fi）を拡大しました。			スマートポールの設置については、他自治体での事例が少なく、多額の費用や関係機関との調整が発生することから、令和8年度に評価・検証を行い、今後の事業方針を再度検討する予定です。		
令和8年度	c	公衆無線LANを取り巻くインターネットの利用環境の変化（インバウンドにおけるポケットWi-FiやeSIMの普及、多様なスマートフォンの通信プランの普及等）を踏まえ、当初計画を見直します。スマートポールの設置についても令和8年度に評価・検証を行い、今後の事業方針を再検討します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	C：計画目標を達成できない
施策の達成状況	施策全体としては一定の取組実績を上げているものの、現時点では計画目標の達成には至っていません。これは、事業効果を十分に検証しないまま拡大・定着を図るのではなく、費用対効果や区民・利用者への波及効果、今後の事業継続の妥当性を評価・検証することを優先したためです。 そのため、当初の目標設定を前提とした推進ではなく、検証結果を踏まえた目標の見直しや導入内容の再整理を行いながら施策を進めている状況です。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	関係部署等との連携により、屋外における公衆無線LANの整備や、それに伴うスマートポールの設置等を着実に実施できたことが、一定の成果につながりました。一方で、公衆無線LANを取り巻く外部環境の変化や新たなサービスの登場等により、当初想定していた活用方法や効果、スケジュール、成果指標について費用対効果を踏まえた再検討が必要となり、計画内容の見直しが生じています。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	本施策を通じて得られた知見は、MINATOビジョン策定に向けた基礎的な材料となっています。一方、公衆無線LANを取り巻く外部環境の変化等を踏まえ、施策効果を区民目線で整理・検証する点に課題が残っています。今後は、データや事例に基づく将来像の提示を行い、実効性の高いビジョン策定につなげていきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	24	政策名	先端技術の活用により利便性の高い区民生活を実現する
施策No	③	施策名	多様な暮らしを支える区政情報の発信
目標・期待する成果	多様化する生活スタイルや年代・属性によって異なる区民ニーズに応じて、伝えたい相手に適した広報媒体を組み合わせ、分かりやすく親しみのある文章表現で区政情報を発信します。		
SDGsのゴールとの関係	 16 平和と公正を すべての人に  17 パートナーシップで 目標を達成しよう		
施策担当課	区長室		関係課 総務課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
区政情報が届いていると感じる区民の割合		65%	70.0%	70.0%	70.8%	73.0%	80%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	若い世代へ訴求するため、動画による広報を開始しました。広報みなとの発行数を月3回から月2回に変更することで情報を効果的に集約し、掲載基準や記載方法などの更なる改善を行いました。			広報みなとを中心とした広報から、デジタルメディアを活用した広報への比重を変え、各年代にあわせた情報発信を行うことで「伝わる広報」の実現を目指す必要があります。		
令和7年度	b	区民等が必要な情報を迷わず取得できるようにするため、Xアカウント運用の再編（18→7）を行いました。フォロワーは半年間で45%増加し、1投稿当たりの閲覧数も5倍近く増加しました。また、撮影素材を発信用のコンテンツとして整え、速やかに発信するデジタル広報の強化に取り組んでいます。			区民の情報取得方法を的確に把握し、より多くの区民に情報を届ける必要があります。令和8年度に区政情報取得に関する動向調査を行い、対象に合わせた媒体を組み合わせで発信することで、区民にとって必要な情報を届ける広報を実践します。		
令和8年度	c	区政情報取得に関する動向調査を行うとともに、港区広報PR基本方針を改訂し、報道発表の対象や内容などの基準を明確化することで、所管課による主体的な広報PRの環境を整えます。また、4月には広報みなと特別号を作成し、全戸配布を行いました。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
情報が見つけやすく、表現が分かりやすいと感じている区民の割合		20%	70.0%	67.5%	64.6%	70.0%	85%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	「伝わる広報」実現のため、利用者が探している情報にスムーズにたどりつき、迷わずに目的を達成できる利便性の高いホームページ」を目指し、港区ホームページをリニューアルしました。			区政情報取得手段として1番利用されているホームページの検索性を高めると同時に、旬な情報をホームページの見やすいところへ配置していくなど、日々の更新を積極的に行います。 ※令和3年度港区民の区政情報取得に関する動向調査報告書		
令和7年度	b	令和7年3月のホームページリニューアル後、トップページ最上段のメガバナーや注目情報に最新の情報を意識的に掲載し、トップページを活用し区の施策や魅力を機動的に発信しています。また、検索性を高めるため、生成AIによる検索機能を追加しました。			各所管課が管理するページの情報を、正確かつ最新の情報に更新し維持する必要があります。今後は、所管課によるホームページ更新の頻度を定期的にチェックする仕組みを整え、最新の情報を掲載するよう庁内へ働きかけます。 また、検索が多かったキーワードをヒントにSNSや広報紙でのPRにつなげます。		
令和8年度	b	生成AI検索やトップページ運用を通じ、区民ニーズに即した情報を適切なタイミングで発信します。あわせて検索動向を分析し、SNSや広報紙と連動させた情報発信による広報を推進します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	C：計画目標を達成できない
施策の達成状況	広報みなとのリニューアルや発行回数の見直しにより、情報の整理・集約を進め、区民にとって分かりやすい発信環境を整備しました。あわせて、Xアカウントの再編やデジタル媒体を中心とした発信、令和8年4月には広報みなと特別号を発行し全戸配布を実施するなど様々な媒体で工夫をした情報発信を進めており、計画目標を達成できる見込みです。媒体特性を踏まえた発信により、「伝わる広報」に向けた取組を着実に推進します。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	広報みなとのリニューアル、SNS運用の見直し、広報みなと特別号の発行など、情報発信手法の再構築を進めたものの、取組開始からの期間が短く、効果が数値として十分に表れる段階には至っていません。また、媒体ごとの役割整理や発信内容の最適化の途上です。今後、運用の定着と内容面の質向上を図ること、成果の顕在化を図ります。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	全庁において、広報は単なる補助的な業務ではなく、事業の一部として各課が主体的に取り組む必要があります。区長室と所管課がそれぞれの役割に応じた情報発信を行い、適切なタイミングで対象に合わせた媒体による効果的な情報発信を行うことが重要です。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）